

献血をご遠慮いただく場合

2015.04 滋賀県赤十字血液センター

(2015.03.16 現在の日本赤十字社ホームページより、おくすり・体調・病気の部分を抜粋し、よく問い合わせのある部分のみ SOP・参考資料をもとに加筆しています。)

以下の事項に該当する方には、原則として献血をご遠慮いただいています。詳しくはそれぞれの項目をご覧ください。

1. 当日の体調不良、服薬中、発熱等の方(当日の体調、服薬等に関する内容)

体調不良の方

献血当日の体調がよくない場合には、献血される方の安全を考慮して、献血をご遠慮いただくことがあります。

食事・睡眠

過度の空腹や睡眠不足であると思われる場合、体調を考慮して献血をご遠慮いただいています

服薬

内服していても特に支障のない薬は、ビタミン剤およびごく一般的な胃腸薬などの類。それ以外は病気の種類や薬の種類によって献血をご遠慮いただくことがあります。また、外用薬、坐薬、点眼または点鼻薬でも、その内容により献血できない場合がありますが、その判断は医師が行います。

発熱

発熱は感染症等の病気の一徴候であることから、熱のある方には、安全性を考慮し献血をご遠慮いただいています。具体的には、個人差や季節の影響もありますが、平熱よりも1度以上高い方が対象になります。

2. 出血を伴う歯科治療(歯石除去を含む)をした方

出血を伴う歯科治療(歯石除去を含む)に関しては、抜歯等により口腔内常在菌が血中に移行し、菌血症になる可能性があるため、治療後3日間は、献血をご遠慮いただいています。

※1 出血を伴わない歯科治療はOK(たとえば、歯型の採取のみの場合など)

3. 一定期間内に予防接種を受けた方

- ① インフルエンザ、日本脳炎、コレラ、A型肝炎、肺炎球菌、百日ぜき、破傷風、**子宮頸がんワクチン**等の不活化ワクチンおよびトキソイドの接種を受けた方は、接種後24時間の献血をご遠慮いただいています。
- ② B型肝炎ワクチンの接種を受けた方は接種後4週間、抗HBs人免疫グロブリンを単独または併用した方については投与後6カ月間、狂犬病ワクチン(動物にかまれた後)を接種された方は接種後1年間の献血をご遠慮いただいています。

- ③ おたふくかぜ、風疹、BCG等の弱毒生ワクチンの接種を受けた方は、接種後4週間、天然痘ワクチンの接種後は2カ月間、破傷風、蛇毒、ガスエソ、ボツリヌスの抗血清の投与を受けた方は投与後3カ月の献血をご遠慮いただいています。

4. 6カ月以内にピアスの穴をあけた方

- ① 医療機関等で、あるいは使い捨ての器具で穴をあけた方は、穴をあけた場所の状態にもよりますが、細菌等が感染している危険性があると判断し、最低1カ月間献血をご遠慮いただいております。
- ② その他の場合（友人同士などで安全ピンや針を共用して穴をあけた方など）は、エイズ、B型肝炎およびC型肝炎などのウイルスが血液を介して感染している可能性を考慮して、6カ月間献血をご遠慮いただいています。
- ③ また、口唇、口腔、鼻腔など粘膜を貫通してピアスを挿入している場合は、献血をご遠慮いただいています。

5. 6カ月以内にいれずみを入れた方

6カ月以内にいれずみを入れた方は、肝炎等のウイルス感染の可能性が否定できませんので、献血をご遠慮いただいています。

6. 特定の病気にかかったことのある方

(心臓病・悪性腫瘍・けいれん性疾患・血液疾患・ぜんそく・脳卒中等に関する内容)

心臓病

急激な血流変化によって悪影響が出るのではと予測される方。

具体的には、今までに心筋梗塞、狭心症があった方、弁膜症、心筋症、治療を必要とする不整脈のある方が該当します。また、リウマチ熱で心障害の疑いがある方、その予防にペニシリン投薬を受けている方もこれに該当します。

悪性腫瘍(がん、肉腫、白血病など)

悪性腫瘍の診断を受けて治療中の方はもちろん、悪性腫瘍の手術を受けた後の方も、たとえその術後経過が良好でも、原則として献血をご遠慮いただいています。

※2 「手術で全部取りきった」「他の治療（化学療法、放射線療法、等）をしていない」「5年以上経っていて再発無し」の全部にあてはまる場合は採血可

けいれん性疾患

発作の誘発による採血中の事故を防ぐため、けいれん性疾患のある方は、献血をご遠慮いただいています。また、抗けいれん剤の投与を受け、けいれんが抑えられている方の場合も、採血による影響を考慮して、献血をご遠慮いただいています。失神を起こしたことのある方も同様に献血をご遠慮いただいています。

※3 15歳までに治癒した方（小児期の熱性けいれんなど）はOK

血液疾患

血友病、紫斑病などの出血性素因、再生不良性貧血、白血病、真性多血症等に該当する方。また、重症貧血にかかったことがある方は、献血をご遠慮いただいています。

ぜんそく

ぜんそく症状がある方や時々発作を起こす方は、採血中に発作が起こると事故につながりますので、献血をご遠慮いただいています。

※4 今現在症状がある方と、1カ月以内に発作があった方は採血しない。

脳卒中

現在異常がなくても、脳卒中の原疾患（動脈硬化症など）を考慮する必要があり、さらに、採血による影響を考えて、献血をご遠慮いただいています。

その他

その他、ネフローゼ症候群、アレルギー性疾患等と診断されている方は、服用されている薬剤の影響や献血による疾患への影響が危惧されますので、献血をご遠慮いただいています。